

音楽科学習指導案

日 時 平成28年11月17日(木) 公開授業Ⅱ
会 場 音楽室
学 級 1年A組(男子19名女子17名計36名)
授業者 佐々木 節子

1 題材名 日本の音階を使って旋律をつくろう 「My Melody」

2 題材について

(1) 教材観

本題材は、学習指導要領に示された指導事項のうち、第1学年の内容「A表現(3)ア 言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること」、共通事項「(1)ア 旋律、リズム」について指導を行うものとする。

本題材では、与えられたリズムの特徴を生かして、民謡音階を用いた旋律創作ができる。その際、つくった旋律をドレミ・・・の文字で書いたりグラフィックな方法で視覚化したり五線に記譜したりすることによって、音のつながり方を実感しながら旋律をつくることができる。「日本の民謡」や「ソーラン節」と結び付けて学習することによって、民謡音階の特徴をより体験的に感じとることができる。

(2) 生徒観

生徒たちは、「日本の民謡」では、声や楽器の音色、拍節的なリズムや拍節的でないリズム、節回し、コブシ、音頭一同形式と曲想との関わりについて関心をもって鑑賞した。「ソーラン節」では、どのように歌うかについて思いや意図をもって曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした表現を工夫した。

そこで、本題材ではこれまでの学習を活用しながら、与えられたリズムの特性を生かして民謡音階を用いた旋律創作をし、旋律をドレミ・・・の文字やグラフィックな方法で視覚化することによって、音のつながり方を実感しながら旋律をつくらせたい。

(3) 研究との関わり

研究主題「一人ひとりが成長を実感できる指導のあり方～学びの自覚を促す振り返りを通して～」にせまるために、「振り返り」を本時における生徒自身の学びの成果だけでなく、次時への関心・意欲が高まるような活動にしたいと考えている。そのために、生徒自身が見通しをもって学習できるような学習課題を設定し、音楽活動を通して課題解決できるように指導していきたい。リズムの特徴を生かして民謡音階の「レ ミ ソ ラ ド」の音を用いた旋律創作をさせたい。アの部分の旋律とのつながりや音のつながり方を考えさせることにより、自分のイメージに合った旋律を創作させたい

3 題材の目標

与えられたリズムの特徴を生かして民謡音階を用いた旋律創作をし、旋律をドレミ・・・の文字やグラフィックな方法で視覚化することによって、音のつながり方を実感しながら旋律をつくる。

4 指導と評価の計画

(1) 題材の評価規準

観点	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽表現の創意工夫	観点3 音楽表現の技能
題材の評価規準	① 民謡音階の特徴に関心を持ち、音楽表現を工夫して簡単な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	① リズム、音のつながり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、民謡音階の特徴を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	① 民謡音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方、記譜の仕方などの技能を身に付けて簡単な旋律をつくっている。

(2) 教材の指導計画

時	ねらいとおもな学習活動	題材の評価規準	評価方法
1	リズム、音のつながり方を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら民謡音階の特徴を感じ取って音楽表現を工夫し、思いや意図をもって旋律をつくる。	観点1ー① 観点2ー① 観点3ー①	観察 学習プリント 学習プリント

5 本時の目標

(1) 指導目標

- ① 「レ ミ ソ ラ ド レ」の中から好きな音を選び、リズムの特徴を生かして音のつながり方を工夫し自分のイメージに合った旋律をつくることができるようにする

(2) 本時の展開

段階	学習項目	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ◇は評価
導 入 分 10	1 民謡音階の確認	○「Warming up」でつくった旋律をリコーダーでリレーして演奏する ○旋律をリレーして気づいたことや感じたことを発表する	・指使いやタンギングに気をつけさせる ・レ ミ ソ ラ ド レの音の中から好きな音を選ばせる ・民謡音階を意識させる
	2 学習課題の把握	○アの旋律を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">イメージに合う旋律をつくろう</div>	・アの部分～イの部分のつながりを意識させる

<p>展 開 25 分</p>	<p>3 学習課題の解決</p>	<p>○イの部分「旋律をつくるリズム」を確認する</p> <p>○イの部分「旋律」のイメージを持つ</p> <p>○どんなことに気を付けて音を選んだらよいか、話し合う</p> <p>○自分のイメージに合うように好きな音を選んでイの部分の旋律をつくる</p> <p>○リコーダーで選んだ音を確認したりつくったイの部分の旋律を演奏したりして、自分のイメージに合う旋律になるよういろいろ試す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手拍子をしたり当てはまる言葉を考えたりしてリズムに注目させる ・どんな感じの旋律をつくりたいか、イメージを言葉に置き換えさせる ・なだらかな旋律や動きのある旋律を視覚的にとらえさせる ・音のつながり方や音高による感じの違いに気づかせる ・<u>レ</u> <u>ミ</u> <u>ソ</u> <u>ラ</u> <u>ド</u> <u>レ</u>の音の中から選ばせる ・アの部分とのつながりや自分のイメージに合うように音のつながり方を工夫して旋律をつくらせる <p>◇関心・意欲・態度① ◇音楽表現の創意工夫① ◇音楽表現の技能①</p>
<p>終 末 15 分</p>	<p>4 本時のまとめ</p> <p>5 本時の振り返り</p>	<p>○アの部分とイの部分の旋律を演奏する</p> <p>○ふりかえりの記入をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音を選んだ理由や旋律のつながり方で工夫したことを自分のイメージと結び付けて紹介をする

